

【別紙①】リアルによる活動にあたっての感染防止策チェックリスト（主催者向け）

～このチェックリストは、「新型コロナウイルス感染症に関する組合員活動ガイドライン」の基本対策とあわせて役立ててください～

◆参加募集時・事前参加案内時の対応

1. 参加者が以下のような場合は参加を見合わせるようによびかけてください。
 - ①体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
2. イベント開催中はマスクを着用してください（乳幼児、体質等によりマスクの着用のできない方は除く）。
3. こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。
4. 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2m 以上）を確保してください(障がい者の誘導や介助を行う場合は除きます)。
5. イベント中に大きな声での会話は避けてください。
6. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従ってください。
7. イベント終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をお願いします。

◆イベント当日の参加受付時の対応

1. 受付窓口には、手指消毒剤を設置しましょう。
2. 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼び掛けましょう（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し参加の制限を呼びかけましょう）。
3. 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽しましょう。
4. 参加者が距離をおいて並べるように可能であれば目印の設置等を行いましょう。
5. スタッフはマスクを着用しましょう
6. 参加者から以下の事項を記載した書面を作成し、1 ヶ月程度は保管しましょう。
 - ①氏名、住所、連絡先（電話番号） ※個人情報の取扱いに十分注意
 - ②利用当日の体温
 - ③利用前 2 週間における以下の事項の有無
 - ・平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）
 - ・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠(けんたい)感)、息苦しさ（呼吸困難）
 - ・嗅覚や味覚の異常
 - ・体が重く感じる、疲れやすい等
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

◆イベント当日の全般的な対応

1. マスク、消毒液、石鹸、ペーパータオル、ごみ袋、使い捨て手袋等、感染防止に必要なものを準備しましょう。
2. 参加者がマスクを着用しているか確認しましょう（乳幼児、体質等によりマスクの着用のできない方は除く）。
3. イベントの前後のミーティングや話を聴く場面においては三つの密をつくらないようにしましょう。
4. 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮しましょう。
5. 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意しましょう。
6. 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意しましょう
7. 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意しましょう
8. 休憩場所、待機スペースの広さにはゆとりをもたせ、他の参加者と密になることを避けましょう（障がい者の介助を行う場合を除く）
9. ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じましょう。
10. 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒しましょう。
11. トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒しましょう。
12. 飲食物の提供は、1人分ずつのペットボトル飲料以外は原則禁止とします。
13. 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けましょう。
14. 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用しましょう。